

平成19年度 事務事業評価表

記入年月日	平成19年4月2日		記入者		連絡先	3332
平成18年度部名	土木部		課名	下水道整備課	課長名	竹田 幹夫
平成19年度部名	土木部		課名	下水道整備課	課長名	竹田 幹夫
事務事業名	公共下水道整備市単独事業（面整備）					
予算上の事務事業名	下水道整備課調整区域分					
1 総合計画における位置づけ			施策コード	32610		
基本目標	「躍動し 魅力あふれる交流拠点都市」をめざして					
政策名	第2章 質の高い都市基盤の整備を進めます					
基本施策名	第6節 下水道の整備と管理					
施策名	第1施策 汚水対策の推進					
2 実施根拠及び関連法令・条例・規則・要綱等	下水道法第3条					
3 個別計画の概要			概要			
計画名	市街化調整区域の公共下水道（汚水）整備市単独事業		市街化調整区域内 認可面積：約330ha 総事業費：95億円 人口：13,400人 世帯：3,700世帯			
計画年次	平成13	年度～	平成20	年度		
4 事業形態の区分	建築・整備・重要物品購入 ▼			5 事業開始年度	平成14年度 ▼	
6 事業概要						
(1) 事業の目的（何のために行うのか、またはもたらしたい成果）				(2) 対象（誰、何）		
公共水域保全、生活環境の改善及び公衆衛生の向上を図るため、市街化調整区域内の生活排水対策の一環として、市街化調整区域内の公共下水道（汚水）を市単独事業によって整備するもの。				整備面積：243.9ha		
(3) 平成18年度事業の内容（活動）・・・いつ、どのような方法で実施した内容（活動）なのか。						
整備工事	11件	整備面積	24.18ha	683,334,000円		
7 関連事業・類似事業又は他市の状況						
8 事業費の推移 〔単位：千円〕						
年 度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
事業費	681,213	175,907	683,334	412,900	412,900	
一般財源	34,599	4,747	85,134	78,500	78,500	
受益者負担金	66,914	20,060	0	0	0	
その他の特定財源	579,700	151,100	598,200	334,400	334,400	
人件費の合計	48,420	12,880	35,420	25,760	16,100	
事業コスト合計	729,633	188,787	718,754	438,660	429,000	
9 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率						
事業名 （主たる事業名）	公共下水道整備市単独事業費（面整備）			対象名称 と単位	工事件数（件）	
年 度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
事業コスト(主たる事業)	729,633	188,787	718,754	438,660	429,000	
対 象 数	15	4	11	8	8	
単位あたり経費(円)	48,642,200	47,196,750	65,341,273	54,832,500	53,625,000	
前 年 度 比		0.97	1.38	0.84	0.98	

1 0 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの					
指標名と単位	工事完了件数（件）	指標式と指標の説明	工事完了件数		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	15.0	4.0	11.0		
目標	15.0	4.0	12.0	8.0	5.0
目標達成度（％）	100.0	100.0	91.7		
1 1 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	汚水整備面積（ha）	指標式と指標の説明	汚水整備された面積（ha）		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	37.6	8.3	23.6		
目標	38.9	10.1	26.0	24.1	24.7
目標達成度（％）	96.7	82.2	90.8		
1 2 個別評価					
(1) 妥当性の評価〔A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない〕					
A	<input type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価〔A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない〕					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果享受している。			
(3) 効率性の評価〔A：効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い〕					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input type="checkbox"/>	・再任用や非常勤職員などを活用しても、これ以上のコスト削減の余地がない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力または市民協働の導入の可能性〔有・無〕					
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、市民協働により推進する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部に民間委託を導入しているが、さらに民間委託を導入しても効果が見込めない。			
	<input type="checkbox"/>	・市で実施する方が民間委託等をするより適している。			
1 3 総合評価（一次評価）					
(1) 自動判定結果					
	{	：良好な状態を維持する事業			
	{	：概ね良好な状況である事業			
	{	：見直しを行う必要がある事業			
	{	：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業			
(2) 事業所管課長による評価（今後の方向性）			(3) 事業所管課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		限りある財源の中で早期実施は困難な状況にあるが、計画どおり推進しており、整備完了により公共用水域の水質保全、生活環境の改善及び公衆衛生の向上が確実に図られている。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
1 4 成果向上及び効率性を高めるための方策			1 5 課題として認識されたこと		
公共下水道の早期整備に合わせ、供用開始された家屋における宅地内排水設備の早期な工事実施。			調整区域内の家屋が連担する区域を中心に整備を図っているが、汚水の発生している家屋が分散しているため、整備区域が面的に捉えられず、一度に多くの処理可能となる家屋が得られない。その結果、早期実現を希望する市民のニーズには必ずしも応えられていない。		
1 6 二次評価					
(1) 局内評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		・事業の実施及び内容について特に問題がなく、現状維持とする。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			